

# 自主・創造・根気

第12号

2018. 9. 3

三田市立狭間中学校

## 2学期が始まりました。ー体育の秋、文化の秋ー

夏休みが終わり、114日間の長い2学期が始まりました。

2学期は、体育大会や文化祭などの学校行事があります。生徒たちには、学校行事を通して学年・学級の絆をさらに深めていき、ご家族や地域の方にもその頑張りをアピールしてほしいと思います。

体育大会の応援リーダーになった3年生は、夏休みから応援の準備を進めています。体育大会では、競技や応援に真剣に取り組む生徒たちの姿を是非ご覧ください。

### FLY ~ We are HEROES ~ \*生徒会のスローガン

今年度の生徒会スローガンである「FLY ~We are HEROES~」は、体育大会や文化祭のテーマでもあります。“大きく羽ばたく”には、日々の継続した取り組みが大切であり、大きな夢の実現は、小さな目標達成の繰り返しでしかありません。

また、「英雄(ヒーロー)とは、自分のできることをした人である(マン・ロソ)」当たり前のことを当たり前に行うこと、自分にできる最善のことを行うことです。このスローガンを胸に、2学期の学校生活も充実したものにしてほしいと思います。

### ー努力することの大切さー

2004年、イチロー選手が262本のヒットを打ち、不滅の記録といわれていたメジャー年間最多安打の記録を、84年ぶりに塗り替えた時のことです。

彼は、あるインタビューに対して、「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道だと思うのです」「努力をせずに何かできるようになる人のことを“天才”と言うのなら、僕はそうではない。努力した結果、何かできるようになる人のことを“天才”と言うのなら、僕はそうだと思う」と言ったそうです。

イチロー選手は、目標を達成するために、厳しい練習を怠ることなく、毎日の努力の積み重ねを大切にしてきました。その結果「前人未到」の記録が生まれたのです。

### ー積小為大(せきしょういだい)ー

二宮尊徳は「積小為大」という言葉を残しています。

「小さな努力の積み重ねが、やがて大きな収穫や発展に結びつく。小事をおろそかに

していて、大事をなすことはできない」という意味です。

「毎晩勉強していた金次郎は、読書をするための油代を稼ぐために荒地に菜種を植え、たった一握りの菜種から7~8升の取り入れになった経験や、捨て苗を荒地で丹精こめて育てて、秋には一俵の<sup>もみ</sup>籾を収穫したことにより、自然の恵みと人の力の素晴らしさを知ると共に、小さな努力の積み重ねが大切(積小為大)だと学び、これが後の行いや考え方の基になりました」 \*報徳二宮神社のホームページより

### ○ マシュマロ実験(マシュマロテスト)

幼稚園児たちにこんな実験をしました。園児を1人ずつ部屋に入れて、園児の前にマシュマロを1つ置きます。そして「食べてもいいよ、でも15分間我慢ができたなら、もう一つあげよう」と言って部屋を出ます。

さて、園児たちはどうしたでしょう。

結果は、食べずに我慢できた園児は、1/3程度だったそうです。「自制心」の有無は、成長後にも影響しています。十数年後、マシュマロを食べなかったグループの方が優秀と評価され、SAT(大学進学適性試験)の点数も高かったのです。IQ(知能指数)より「自制心」の強さの方が将来のSATの点数にはるかに大きく影響すると結論づけています。「将来のより大きな成果のために、自己の衝動や感情をコントロールし、目先の欲求を辛抱する能力」は、社会における成功に重要であることを改めて知らされました。

また、実験では、マシュマロを見つめたり触ったりする園児は食べてしまう率が高く、我慢できた園児は、目をそらしたり後ろを向いたりして、マシュマロから注意を逸らそうとする傾向が見られました。中学生の場合も、誘惑に負けないためには、自分の意志で思い切って排除してみる選択もあるでしょう。

## 夏休み中、文化部も地域で活躍しています

<吹奏楽部> 吹奏楽コンクール西阪神地区大会(7/29)で銀賞を獲得しました。毎日熱心に練習している成果が、体育大会や文化祭、定期演奏会でも見られると思います。

また、狭間地区夏まつり(8/25)にも出演しました。強い風が吹く中での演奏でしたが、地域の方からも拍手をいただき、励みになったと思います。

<文芸部> 8月3日(金)、三田さち幼稚園に出向き、「ペープサート劇」や「手遊び歌」で園児たちと一緒に楽しんだり、折り紙を一人一人に手渡して触れ合ったりしました。地域での活動は、部員たちにとって貴重な体験となりました。